

「ポスト」で飼育できなくなったカメを引き取ります。明石市が、強い繁殖力で生態系を壊すとされるミドリガメ（ミシシippアカミミガメ）の無料引き取りキャンペーンを実施したところ、100匹以上集まったことが21日、分かった。市担当らは「予想以上の結果。今後の実施も検討したい」と手応えを感じている。

ミドリガメは繁殖力が強い米国原産の外来種。ため池などに捨てられると、絶滅の恐れのある在来種「ニホンイシガメ」の生息地を占拠するなど生態系に影響を与え、「要注意外来生物」に指定されている。

市環境総務課によると、平成23年に市内のため池33カ所で調査した結果、このうち7割のため池でミドリガメの生息を確認。24年5～6月に谷

強い繁殖力 生態系壊す

ミドリガメ

回収ポストに100匹超



キャンペーンでミドリガメを引き取る明石市職員（同市提供）

八木川流域で行った防除調査では1634匹を捕獲した。10月16～31日に、計13カ所で「カメポスト」とする引き取り場所を設置。市職員が立ち合い、カメを引き取る前

市はミドリガメの捕獲が進んだとして、今度は捨てられる前に回収するキャンペーンの場合を考慮し、引き取りを

電話で受け付ける「カメダイヤル」も用意した。

この結果、集まったミドリガメは計138匹。手放す理由を尋ねたところ、「大きくなりすぎた」や「世話をする人がいなくなった」という意見が多かったという。

回収したミドリガメは、神戸市立須磨海浜水族園（同市須磨区）の淡水ガメ研究施設「亀楽園」で研究に活用されている。明石市のミドリガメ対策アドバイザーで、カメの生態系に詳しい同水族園の亀崎直樹園長は、「自治体がミドリガメの引き取りを行うのは初めてだろう。全国的にミドリガメの大繁殖が問題になりつつあり、水際で繁殖を防ぐ取り組みは広がるべきだ」と話した。

明石市が無料キャンペーン